



11
Nov. 2018
No.760

お母さんにやさしい町は、
きっと子どもたちにもやさしい町—



公金紛失に関するの お詫びと今後の対応について

この度は、新聞報道にありましたように昨年の7月3日と今年の3月6日の2回、会計課、税務課の窓口で受け取りました合計31万1千円を紛失するという事案が発生しました。盗難の可能性があると、遠田警察署に被害届を提出いたし、現在も捜査中ではありますが、町といたしまして一刻も早く、解決するよう捜査に協力してまいります。

また、警察の捜査への影響を考慮し、公表しておりませんでした

が、涌谷町議会定例会9月会議の決算審査特別委員会で指摘を受け、概要について説明をいたし、30年度補正予算で公金補てん金として予算措置いたしました。が減額する予定であり、事件発生後の不十分な対応により、町民の皆様に対し大変なご迷惑をおかけしましたこと、町長として強く責任を感じております。深くお詫び申し上げます。

現在、監査委員に対して、地方自治法に基づき職員の賠償責任に



関する監査請求を行う
予定であり、この監査
後、監査委員から職員
の賠償責任の有無等が
示されることになりま
す。

今後の公金の管理体
制につきましては、事
件の重大さを認識し、
一刻も早い信頼回復を
図るため、庁舎内に公
金紛失に関する再発防
止検討委員会を設置し、
管理体制の検証を行い、
新たに公金管理マニユ
アルなどを策定し、町
民の皆様の信頼回復に
取り組んで参る所存で
あります。

町政を預かる町長と
して、公金を紛失し、
町民の皆様にも多大な
ご迷惑とご心配をおか
けしましたことを、心
より深くお詫び申し上
げます。

● 財政事情の公表（決
算報告等）について

例年11月号で公表し
ておりました決算報告
等については、認定さ
れた平成29年度一般会
計決算において一部不
適正があり、議会から
再認定をいただくこと
としましたので、後日
掲載いたします。大変
申し訳ございませんが、
ご理解をお願い申し上
げます。

平成30年11月1日

涌谷町長 大橋 信夫





「CO育て」とは

「共同の」「相互の」を意味する英語の接頭語「CO」と「子育て」を掛け合わせた造語。

これが実情・弧育てのホンネ

「夜泣きがひどい時期、相談してもどうにもならない、今だけと割り切った」「近所に同年代の子どもがいない」

「旦那だけに任せられない。おむつ交換をしなかったり、泣きっぱなしにされるのではと不安」「夫の夜勤明けの日中は家にいられない」「公園に遊びに行っても幼児向けの遊具を小学生が占拠している。子どもが仕返しをされたらと思うと怖くて注意できない」

「自分が具合が悪いときは、気合いで耐えるしかない」「両親が育児に協力してくれらるけど、両親の子育ての常識が今は非常識」「子育てサークルに一步踏み出すハードルが高い」。

今回の特集を組むにあたり、子育てに直面しているお母さんたちが口にした胸の内。元々涌谷町に在住でも、転入してきて、両親と同居であっても、核家族であっても、いつも子どもと向き合っているのは主にお母さんです。

さまざまな不安や悩みを抱えなければいけない涌谷町の「子育て」は、「弧育て」になっ



「^こ ^{そだ}弧育て」から「^こ ^{そだ}CO育て」へ

特集 みんなで育てようわくやっ子！

平成29年の浦谷町の出生数は78人で、平成28年に比べると27人の減少。全国的にもさまざまな問題によって少子化に歯止めがかかりません。

そのため、浦谷町では、子育て中の家庭の経済的支援や育児相談、預かり保育の拡充などの支援をしていますが、子育てを取り巻く環境は刻々と変化し続け、子育てへの悩みは尽きません。本当の子育てのしやすさについて考えてみませんか。



弧育てが招く悲劇

子育てがうまくいかない不安によるストレスや家庭内での夫婦の不和などにより、「弧育て」は進行。そのことが、保護者が意図せず、子どもの健全な成長を阻害する不適切な対応「虐待」へと発展させてしまうこともあります。

さらに、「虐待」の経験は、精神的なトラウマとなり、虐待を受けた子が親になった時、さらに子どもに「虐待」してしまうという連鎖をもたらすリスクがあります。

みんなで育てるCO育てへ

最初から完べきな親はいません。たった一人で泣きじゃくる子どもと向き合い、平日の日中子どもを連れてどこに出かけたらいのかと思いつながら引きこもっている…。

そんな「弧育て」が日常になってしまっているお母さんを一人でも減らすためには、地域の皆さんも子育てに向き合い参加する「CO育て」が求められます。

それが、お母さんにやさしく、子どもにとつてもやさしい、子育てのしやすい町・浦谷町への第一歩となるのではないのでしょうか。

地域でC〇育てする涌谷町に向けた仕組みづくり

わくや地域子育て応援団！

ファミリーサポート事業

子育てをされていて、
よくこんなことはありませんか？

来月、休日出勤があるけど、
パパも仕事を休めない
どうしよう…

残業の予定…
保育園のお迎え、
間に合わないなあ…

美容室に行きたい。
気分転換がしたいなあ…

お兄ちゃんの参観日、
下の子はどうしよう…

歯医者に行く間、
預かってもらえたらなあ…



身近ではなくなってしまう
「近所のおばちゃん」

現在30歳以上の皆さんがまだ幼かった頃、親に何か急用ができてしまった時、親が風邪を引き病院に行かなければいけないとなった時、皆さんを預かってくれた「近所のおばちゃん」がいまありませんでしたか？

いつも笑顔で迎え入れてくれて、「お腹すいていない？」とおやつを優しくくれて、一人でも遊びに行くのが楽しみだった「近所のおばちゃん」。

それから時は流れて、現在。大人になった皆さんは、結婚をして、子どもを授かり、家事と育児に追われ、自分のことだけではなく、子どもたちのこともままならなくなり、滅入ってしまうようになっていませんか？

お母さんたちへのインタビューでも、「自分が具合悪い時に病院に行けずに結局子

どもにもうつってしまった」「子どもが成長してあちこち動き回るようになったので家の片づけもできない」「美容室にすら行きたくてもいけない」といった声が多数寄せられました。

時代の流れによって、少子高齢化や核家族世帯の増加など、生活環境が大きく変化し、人と人のつながりが希薄化。

涌谷町においても、お母さんたちが、ちょっと何かをした時に助けてくれていた「近所のおばちゃん」の存在が、なくなりつつあります。

今まさに子育てに向き合っているお母さんたちを、子育て経験のある地域の皆さんが手を取り合い、「近所のおばちゃん」になって支援しようとするものが「わくや地域子育て応援団・ファミリーサポート事業」です。

希薄になってしまった助け合いの
つながりを復活させましょう。

共助と信頼の上に成り立つ ファミリーサポート事業

ファミリーサポート事業とは、安心して子育てができる環境づくりを目的に、利用会員と協力会員がそれぞれ会員登録し、お互いに信頼関係を築きながら子どもを預けたり、預かったりする、地域で子育てを支え合う相互援助活動です。援助活動は、保育施設への送迎や保育施設の時間外・学校の時間外の預かり、保護者の買い物時の預かり、保護者の病気時の預かりなど日常生活を支援するものです。

一方で、ファミリーサポート事業に対して「おしゃべりもできない乳児を知らない人に預けるなんて」という不安の声も出ていますが、この事業を通じて日頃から子育てにかかわる人同士が、気軽に声を掛け合える関係を築くことが成果の一つでもあります。

平成31年度の本格始動を 目指しています

涌谷町では、ファミリーサポート事業の利用会員と協力会員を募集中です。利用料金は、1時間あたり600円から700円を予定。

平成30年度中は、プレ・ファミリーサポート事業を実施します。

事業展開のため、皆さんの会員登録が必要です。

会員登録は、涌谷町福祉課子育て支援室(☎43-5111(内線521))で受け付けています。

子育て真っ只中のお母さんたちにとって、子育てに対する援助は今すぐ必要なものです。そんなお母さんたちを今すぐにでも救えるのは、地域で共に暮らす皆さんです。

また、「弧育て」中のお母さんは、外に一步踏み出すことすら難しくなっている場合があります。「弧育て」の問題を解決するためにも、一步踏み出して支援者や福祉課子育て支援室の専門の職員に相談することで、「弧育て」から救われるかもしれません。

ファミリーサポート事業は、お互いに支え合う「共助」と、助けてくれる人に対する「信頼」がなければ成り立ちません。

かつての「近所のおばちゃん」を皆さんが信頼していたように、子育てを助け合える仕組みを作り上げていきたいと思います。

《ファミリーサポート事業の仕組みと流れ》

1. 会員登録

利用会員だけでなく、協力会員の存在が必要不可欠です。涌谷町では50人以上を目標に募集中。利用会員が協力会員となり、ママ友同士の預け合いも可能。

【利用会員】



涌谷町内に在住で、お子さん(小学6年生まで)を預かってほしい保護者が対象となります。

【協力会員】



涌谷町内に在住で、子育て支援に理解があり、子どもを預かれる人。年齢・性別・資格の有無は問いません。町で行う養成講座(無料)を受講していただきます。

2. 事前打ち合わせ

知らない人に預けることの不安を払拭し、安心して預けられることを目的として行います。



事務局(子育て支援室)が面談し、条件に合う会員をマッチング。利用前には、利用会員と協力会員同士が、事務局を交えて援助内容の打ち合わせを行います。

3. 援助依頼

円滑に援助が受けられるよう、事務局もサポート。



利用会員が事務局へ援助活動を申し込み、事務局から協力会員へと援助の打診を行います。

4. 援助活動を実施

地域で子育てを支え合う相互援助活動の実践です。



協力会員は、事前打ち合わせ通りの援助を行い、利用会員は援助時間分の料金を協力会員に直接支払います。

協力会員は、援助後、報告書を事務局に提出してもらいます。

エプロンおばさんと遊ぶう広場

毎週木曜日、涌谷町高齢者福祉複合施設「ゆうらいふ」で、資格や役職にかかわらず、子育て経験者で構成する子育て相談員の通称「エプロンおばさん」が楽しく迎えてくれます。広くて明るいホールで、自由遊びを中心とした集いの場として運営されています。

【とき】毎週木曜日・10時～11時

【ところ】ゆうらいふ

【問い合わせ先】涌谷町社会福祉協議会 ☎43-6661



一歩踏み出せば仲間に出会える わくやつ子のための 子育てサークル

八雲児童館幼児クラブ

毎週火曜日、八雲児童館で、0歳児から未就園児とその保護者を対象にしたサークル。

地域の人たちのふれあいや年中行事とおして親睦が深められます。

【とき】毎週火曜日・10時～11時

【ところ】八雲児童館

【問い合わせ先】八雲児童館 ☎42-2617



ママ友のつながりを作れる
憩いの場・集いの場
「住んでいる近くに、子どもを連れて遊べる場がない」「子育て中の親同士が集まれる場がない」。そんな話を母さんたちから聞きます。「ママ友がほしい」「子育て



の悩みを気軽に話せるつながりがほしい」という0歳から未就園の子どもを育てる皆さんは、子育てサークルに出かけてみてください。
「子連れで集まり気兼ねなくおしゃべりできる」「情報交換によって子どもの発達を

涌谷保育園子育て支援センター

大きな遊具とたくさんの児童書がある涌谷保育園子育て支援センター。居住地区別サークルと子どもの年齢別サークルがあります。季節ごとにクリスマス製作や運動会などの合同サークルも催されます。

【とき】広報わくやお知らせ版に掲載

【ところ】涌谷保育園子育て支援センターなど

【問い合わせ先】涌谷保育園子育て支援センター

☎42-2333

確認できる」と重宝され、満足しながら通っています。
はじめの一歩は緊張するかもしれませんが、皆さんが抱える不安や悩みを、同じく子育て中の者同士で共有できれば、子育てが少し楽になれるかもしれません。

おひさまスマイル

町民の大橋ひとみさんと齋藤祐子さんによって発足された子育て支援サークル。月に1回、子育てをしながら学び、楽しみ、息抜きできるイベントや親子で楽しめるイベントを開催。音で遊びながら、リズム感や表現力、コミュニケーション力を育むリトミックも定期的に開催。

【とき】 広報わくやお知らせ版に掲載

【ところ】 涌谷町町民医療福祉センター集団検診室など

【問い合わせ先】 大橋 ☎090-4672-5669

齋藤 ☎090-4123-7019



託児付きだから
心からリラックスできる
ひととき—



広い広いこども園で
のびのび遊ぼう—

さくらんぼこども園なかよしルーム

月に1回、さくらんぼこども園内の支援室で開かれるサークル。こども園の園児との遊びや交流があり、入園を予定している親子には、施設の体験にもつながるサークルです。

【とき】 広報わくやお知らせ版に掲載

【ところ】 さくらんぼこども園支援室

【問い合わせ先】 さくらんぼこども園 ☎43-6681



のんのん教室

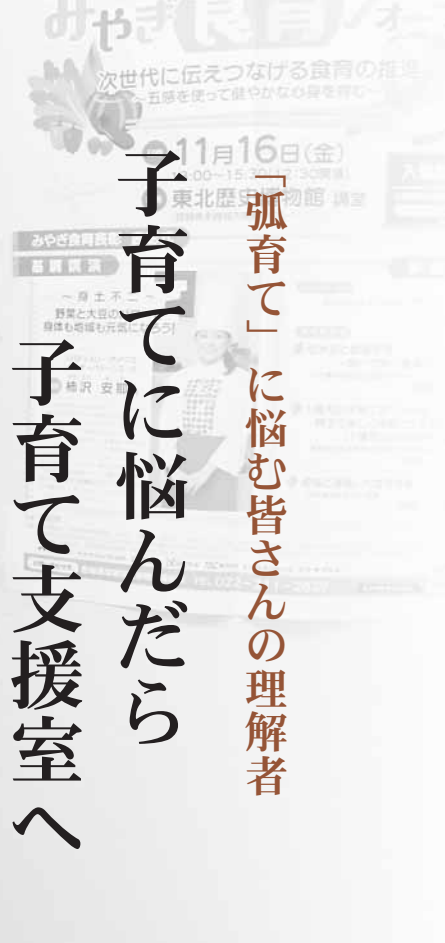
月に1回、子育て経験豊富なボランティアが運営。筥岳地区で開催される遊びを中心にしながら、避難訓練や交通安全教室、運動会など親子で楽しみながら体験できる行事もあるサークル。子育て・孫育て中の人同士が交流しながらつながりを作れる場です。

【とき】 広報わくや1日号に掲載（11月は、15日（木）10時～11時に開催） 【ところ】 筥岳公民館

【問い合わせ先】 生涯学習課 ☎43-3001



筥岳地区で
子育て・孫育て中の皆さんが
つながりを作れる場—



「弧育て」に悩む皆さんの理解者 子育てに悩んだら 子育て支援室へ

平成29年4月に涌谷町民医療福祉センター福祉課内に設置された「子育て支援室」。幼稚園・保育所への入退所や子ども医療費助成といった事務だけではなく、子育て支援ガイドブック「みんな子育てようわくやっ子」の作成や児童虐待への対応など、より良い涌谷町の子育て環境の整備を推進しています。「役場って、相談相手として敷居が高い」と思っている皆さんの気持ちをくみ親身な対応を心がけています。

子育ての相談相手として
信頼を寄せられる存在に

子育てに頑張る皆さんの相談相手として子育て支援室には専門的な研修を受けた職員が、同じフロアの健康課には母子保健の専門家である保健師が配置されています。

その子育て支援室は、小学校などの教育機関や幼稚園・保育所、地域と連携をとり、そして、子ども・子育て会議などでさまざまな立場の人の意見を聴き、涌谷町を取り巻く子育ての諸問題に向き合っています。また、よりよい子育て環境に向けた懇談会やアンケートなど、皆さんに協力をお願いしてまいります。

子育てに悩んでいるのなら、まずは、子育て支援室に一度相談してください。地域の一員として「CO育て」に共に取り組んでまいります。



子育て支援ガイドブックアプリダウンロード用QRコード
子育て支援室が制作した涌谷町の子育て情報が網羅されたガイドブック。便利なアプリ版もあります。



すべての子育てが笑顔で満たされるように

子どもは地域の宝
だからその「CO育て」

少子高齢化が深刻化する地方社会が存続していくためには、子どもを安心して産み、育てられる環境を整えていく必要があります。子育てが辛いという地域に、子どもが産まれていくでしょうか。

出産・育児は、女性や若い世代だけが抱え込むことではありません。地域の宝である子どもは、地域で育む。「弧育て」から「CO育て」へ。その思いを共有できたとき、涌谷町が本当に子育てしやすい町になります。

平成31年度
涌谷町立幼稚園の入園児を募集

平成31年4月から涌谷町立の幼稚園に入園する児童を募集します。
 指定の受付期間内に、入園希望の幼稚園に願書を提出してください。

【通園区】

幼稚園名	通園区	電話番号	幼稚園名	通園区	電話番号
 涌谷幼稚園	1区～6区	☎43-3343	 ののだけ幼稚園	箕岳白山 小学校区	☎45-2118
 涌谷南幼稚園	7区～11区、 八雲区	☎43-2260	 さくらんぼこども園	月将館 小学校区	☎43-6681

【入園資格】

涌谷町在住の3歳児から5歳児が対象です。

- ▶3歳児(平成27年4月2日～平成28年4月1日)
 - ▶4歳児(平成26年4月2日～平成27年4月1日)
 - ▶5歳児(平成25年4月2日～平成26年4月1日)
- ※4歳児、5歳児は未入園児です。

【申込方法】

涌谷幼稚園・涌谷南幼稚園・ののだけ幼稚園・さくらんぼこども園のうち入園希望の幼稚園に、入園児同伴で願書を提出してください。

願書は各幼稚園に備え付けています。申し込みの際は事前に幼稚園へ電話連絡の上、訪問してください。

【受付期間・時間】

11月15日(木)～11月30日(金)
 ※土日祝日を除く9時～16時

【預かり保育について】

涌谷幼稚園、涌谷南幼稚園、ののだけ幼稚園、さくらんぼこども園のすべての幼稚園で実施しています。希望者は、「預かり保育申請書」に必要事項を記入し、各幼稚園に提出願います。

後日、面談の上、利用の決定をします。
 ※申請書は各幼稚園に備え付けています。

【問い合わせ先】

福祉課子育て支援室 ☎43-5111(内線521)

広告

涌谷中学校同窓会謹製の「校歌型染め手ぬぐい」

中学校卒業生の皆さま、同窓会では、

①新卒業生への記念品の贈呈

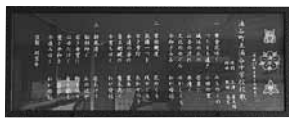
②中学3年生の上野公園での

ふるさと紹介活動への助成

を行っております。

どうぞこの活動にご参加ください。

クラス会や年祝いの会の際に、母校の「校歌」の型染め手拭いを記念品にお使いください。1本1,000円です。



【申し込み先】

涌谷中学校同窓会事務局 櫻井 信 ☎090-4636-3815

広告

デイサービス ほのか

イオンスーパーセンター涌谷

無料体験実施中!

- 簡単な運動を毎日楽しく
 - 定員 午前15人・午後10人
 - 機能訓練メニューで買い物ができるデイサービス(東北初)
 - 季節の行事や外出、レクリエーション、マッサージ
 - 生活スタイルに合わせ午前・午後のうれしい2部制
- ▶問い合わせ先 担当:佐々木 ☎0229-43-6071



修紅幼稚園



ののだけ幼稚園



子が躍動

の運動会

の幼稚園・こども園・保育園で、
たちが各地で大活躍しました。



さくらんぼ
こども園





涌谷南幼稚園



わくやっ

平成最後

9月中旬から下旬にかけ、涌谷町内
運動会が開催され、わくやっ子



涌谷幼稚園



涌谷保育園





涌谷町の産業が一堂に会したイベント わくや産業祭2018を開催

10月8日(月・祝)に涌谷公民館を会場に、わくや産業祭2018が開催されました。涌谷町の工業や農業を中心とした各団体が出店。特に、ものづくり企業連絡会が展開した「手作り缶バッジ」ブースには多くの親子が並び、思い思いの絵柄の缶バッジを作っていました。

その他にも、新米やサンマなどの秋の味覚の試食販売や涌谷町内の伝統芸能団体を中心としたステージが披露され、一日をとおしてにぎわいをみせました。



動物とのふれあいを啓発 佐々木蓮さんが優秀賞を受賞

9月29日(土)に、第23回OSAKI動物セミナーにおいて、箕岳白山小学校6年生の佐々木蓮さんが、絵画コンクールで応募総数49点の中から厳正なる審査の結果、優秀賞として表彰されました。

この絵画展は、「動物とのふれあい」をテーマに大崎地域狂犬病予防事務連絡協議会が主催し、大崎管内の小学校3年生から6年生の児童を対象としたコンクールです。



作神さまの箕岳山のお膝下で 箕岳白山小学校が稲刈りを実施

9月26日(水)に、箕岳白山小学校の学習田において、春に田植えをしたもち米の稲刈りが行われました。

田植えの時と同じように、5年生児童16人が、箕岳地域の老人クラブの協力をいただきながら、手刈りでの稲刈りに挑戦。はじめは、刈取りまでの予定が、稲穂を縄がわりに稲の束を作る作業にも挑み、穂仁王を組み上げていきました。収穫したもち米は、11月に実施する「みのり祭」で「おこわ」として振る舞われる予定です。



宝くじ社会貢献広報事業で助成申請が採択 10区自治会でお披露目会

9月8日(土)に、長柄町生活共同利用センターで行われた秋葉山神社宵まつりにおいて、「平成30年度一般コミュニティ助成事業(宝くじ)お披露目会」が開催されました。

10区自治会では、コミュニティに必要な備品などを導入し、継続的かつ円滑に活動を進めるため、(財)自治総合センター「宝くじ社会貢献広報事業」に助成申請し、厳しい審査を通り、採択されました。この日は、助成事業で導入した備品のお披露目会となりました。